

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士（工学）				
学歴	1985年埼玉大学教育学部卒業、1988年東京女子医科大学看護短期大学卒業、1997年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース修了、2009年博士（工学）取得（千葉工業大学）				
経歴	1992年 東京女子医科大学看護短期大学助手、1998年 三重県立看護大学助手、1999年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006年 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、2013年 医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、2019年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授、2023年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科長				
所属学会（役職）	日本看護技術学会（評議員）、日本人間工学会（理事・表彰委員会副委員長）、日本人間工学会関東支部委員、看護人間工学会（理事、評議員、総務委員会総務副委員長）、日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、産業保健人間工学会、日本看護管理学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	高齢入院患者の「動き」を促進する急性期病院における看護実践－老人看護専門看護師へのインタビュー調査－	共著	あり		老年看護学,30(1),99-107	○丸山優、水間夏子、畔上光代、 <u>國澤尚子</u> 、大塚真理子	2025.7
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	外反母趾・浮き趾による転倒の予防に向けた地域在住高齢者の足への関心	共同	日本老年看護学会第30回学術集会（千葉市）		○丸山優、 <u>國澤尚子</u> 、新村洋未、水間夏子、波多野真弓、畔上光代、小長谷百絵		2025.6
2	外反母趾・浮き趾による転倒の予防に向けた病院看護師の高齢患者の足への関心	共同	第29回日本看護管理学会学術集会、札幌市		○波多野真弓、 <u>國澤尚子</u>		2025.8
3	外反母趾・浮き趾による転倒の予防に向けた病院看護師の高齢患者の足への関心－無記名質問紙による調査－	共同	第29回日本看護管理学会学術集会、札幌市		○ <u>國澤尚子</u> 、波多野真弓		2025.8
4	地域・在宅における介護従事者の腰痛予防に関する実態調査（2）－用具活用と研修へのニーズ－	共同	看護人間工学会第7回学術集会、盛岡市		○水戸優子、荻原典子、富田川智志、 <u>國澤尚子</u> 、首藤英里香、平田美和、若村智子、西田直子		2025.9
5	移乗・移動動作の看護技術の今昔物語～今はこう教えている、こう援助している～	共同	日本看護技術学会第23回学術集会（交流セッション）（京都市）		首藤英里香、平田美和、荻原典子、水戸優子、若村智子、 <u>國澤尚子（司会）</u> 、富田川智志、西田直子		2025.10
6	地域・在宅における介護従事者の腰痛の実態と腰痛予防対策	共同	日本看護技術学会第23回学術集会（京都市）		○水戸優子、富田川智志、 <u>國澤尚子</u> 、首藤英里香、平田美和、若村智子、荻原典子、西田直子		2025.10
7	保健医療福祉領域におけるファシリテータ研修の効果	共同	第18回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（品川区）		○小川孔美、 <u>國澤尚子</u> 、柴田貴美子		2025.10

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	必見！新発想のトイレ手すり トイレ動作の自立をあきらめない！こんな手すりが欲しかった	共著	日本老年看護学会第30回学術集会（ランチョンセミナー）（千葉市）	○國澤尚子（演者・座長）、○城戸憲昌、○石川朝之	2025.6
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの改良と評価	研究協力者	2025.4～2028.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築	研究分担者	2023.4～2027.3
3	2025年度埼玉県立大学 奨励研究費		経験豊かなファシリテータの語りから学ぶIPE教育の実践知に関する質的研究	研究分担者	2025.4～2026.3
4	2025年度埼玉県立大学 奨励研究費		三次元動作解析による看護学生の上方移動技術の評価と教育プログラム開発への基礎研究	研究分担者	2025.4～2026.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護学原論	○	15	対面で実施した。LTD学習法を取り入れて、本を深く読み込み議論することを体験的に学ぶことができるようにした。また、県立病院に勤務する本学の卒業生をゲストスピーカーに招き、学生たちが看護の仕事を身近に感じながらイメージできるようにした。	
2	ヒューマンケア論		2	老年看護の教員とともに1コマ2開講の講義を行った。トークを行い、同じ事例、同じ専門職でも異なる視点に着目することを示した。また、企業との異業種多職種連携によるモノづくりの体験談から、思いを形にすることもヒューマンケアであることを伝えた。	
3	看護学教育論（大学院）		1	「中堅看護師の実践能力育成とキャリア支援の現状と課題」について講義した。（オンラインで実施）	
4	IPW論（大学院）	○	11	科目の構築・運営を行った。チーム・チームワーク、IPWの評価について講義した。学生によるIPWに関する事例発表のコメンテーターを担当した。（すべてオンラインで実施）	
5	IPWシステム開発論（大学院）	○	15	科目の構築・運営を行った。異業種多職種連携の自身の実践例を紹介したり、他の講師の話題提供をもとに、IPWのシステム開発について受講者と議論した。発表会はオンラインで公開した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	スタートアップセミナー		8	科目責任者が所属する担当学科長として会議や授業に出席し、準備や実施状況の把握に努めた。	
2	看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ（大学院）	○	月1～2回	指導教員としてゼミに参加し、研究指導を行った。（オンラインまたは対面）	
3	卒業研究	○	2025.4～2026.3	科目担当者とともに、科目の計画・運営を行った。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	総合実習	○	2025.7	科目担当者とともに、科目の計画・運営を行った。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2025.10	第1クールを担当した非常勤実習助手が円滑に実習指導ができるようにサポートした。
3	基礎看護学実習Ⅰ		2026.2	科目責任者が運営する学内実習をサポートした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員）3名	副指導（指導補助教員）名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	宮城県看護協会	ヘルスケアシステム論Ⅰ（オンライン）	2025.6
2	認定看管理者教育課程ファーストレベル第1回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ（対面）	2025.6
3	中堅看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東日本地区	ファシリテーションに関する基礎知識（対面）	2025.7
4	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	上尾中央医科グループ	統合演習Ⅰ（オンライン）	2025.7
5	認定看管理者教育課程ファーストレベル第2回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ（対面）	2025.8
6	IPWカフェ	彩の国連携力育成プロジェクト	IPWカフェ21：キャラ化ワークショップ 職種を楽しく深く理解する（企画・運営担当）（オンライン）	2025.8
7	専門職連携を学ぶ講座	彩の国連携力育成プロジェクト	ファシリテータ研修（対面）	2025.6-7
8	兵庫県看護協会教育研修	兵庫県看護協会	看護現場に求められるファシリテーションスキル	2025.9
9	令和7年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	看護理論Ⅲ-1、2 論文の書き方（対面）	2025.9
10	専門職連携を学ぶ講座	彩の国連携力育成プロジェクト	多職種チームによる実践事例研修（対面）	2025.9-10
11	令和7年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	ファシリテーションⅡ（対面）	2025.11
12	認定看管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	レポートの書き方（オンライン）	2025.11
13	認定看管理者教育課程ファーストレベル第3回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ（対面）	2025.12
14	認定看管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	看護チームのマネジメント（対面）	2025.12
15	山梨県看護協会教育研修	山梨県看護協会	看護の現場で活かすファシリテータの役割（対面）	2026.2
16	2025年度全国キャラバン研修会・ジェネラルナースの技術力を高めよう	日本看護技術学会技術研究成果検討委員会	移動動作技術のきほんと用具の活用（対面）（なごや福祉用具プラザ）	2026.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	看護人間工学会	評議員	2025.4-2027.3
2	看護人間工学会	総務委員	2025.4-2027.3
3	日本人間工学会	第9期理事	2024.6-2026.6
4	日本人間工学会	表彰委員会副委員長	2024.6-2026.6
5	日本人間工学会	第23期関東支部委員	2024.6-2026.6
6	さいたま市立高等看護学院	運営委員会委員	2023.10-2027.9
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし	日本看護人間工学会	投稿論文査読 2025.5-11
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修センター員	2025.4-2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト（大学間連携運営連絡会議）	2025.4-2026.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2025.4-2026.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	道学教師理事長賞選考委員会	2025.4-2026.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	2025.4-2027.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	教員評価委員会	2025.4-2027.3
7	国際交流活動	JIPWEN活動ならびにWHO協力センターに関する群馬大学との活動窓口	2023.4-2026.3
8	国際交流活動	インドネシアの看護学生との交流企画	2025.5-10
9	学科等における委員会等	看護学科長	2023.4-2026.3
10	学科等における委員会等	保健師助産師関連科目履修者選考委員長	2023.4-2026.3
11	学科等における委員会等	県立病院機構と県立大学の連携（看護）メンバー	2022.4-2026.3
12	学科等における委員会等	看護学科ハラスメント防止プロジェクトチーム	2023.4-2026.3
13	該当なし	後援会活動（新入生保護者歓迎会、後援会との意見交換会、交流会）	2025.4-2026.3
14	該当なし	障害学習支援委員会	2025.4-2026.3
15	該当なし	有馬育英会奨学生審査会	2025.4-2026.3
16	該当なし	名誉教授選考委員	2025.4-2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	立位姿勢介助具（住宅トイレ補助具）	意匠番号：第1806104号 意願2024-023737	2025.8.14
8. 特記事項			
1	該当なし		